

### 震災復興

生活再建格差への対応、災害公営住宅入居者らの孤立防止、遺族や行方不明者家族のケア、自死予防……。ハード面の復興が大詰め、東日本大震災被災地では、その先の「一人一人の復興」実現に向け、多くの難題が待ち受ける。

「一人一人の復興」実現に向け、多くの難題が待ち受ける。

「一人一人の復興」実現に向け、多くの難題が待ち受ける。

### 「共に考える力」今こそ

「風呂さん」と呼ばれてます」講演はいつもこんな調子。ただ、なかなか家に帰れないのは、震災から間もなく9年の今なお、陸前高田市に同じ続けているためでもある。同市の「はまっつてけらいん、かだつてけらいん（集まろう、

に新居を構え、日本赤十字秋田看護大で教員の道を歩み始めて1年後、震災が起きた。直後から支援に奔走。その後、岩手医大に転職し「少し陸前高田が近くなった」。津波の犠牲になった元同僚への思いに加え、「つながりは一

えはない。これほど大規模な災害時の長期的な支援モデルも、この国にはない。だが、決して無力ではないはずだ。この8年余、模索し続けた経験に学ぶことで、力が湧いてくる。佐々木さんと陸前高田市のコラボレーションをはじめ、沿岸各地で培ってきたつながりが、困難に立ち向かう力になってくれる。

「一人一人の復興」実現に向け、多くの難題が待ち受ける。

### 「共に考える力」今こそ

「個」が「孤」のままでは解決できない。個と個が互いに胸襟を開き、子育て環境の充実から、高齢者や障害者らの居場所づくりまで、さまざまに考え、共に生きる。蓄積の真価を発揮する1年になってほしい。

「一人一人の復興」実現に向け、多くの難題が待ち受ける。

「一人一人の復興」実現に向け、多くの難題が待ち受ける。

「一人一人の復興」実現に向け、多くの難題が待ち受ける。

「一人一人の復興」実現に向け、多くの難題が待ち受ける。

（黒田大介）